

燕市自殺対策計画 目標項目一覧

資料2-1

計画期間：令和元（2019）年度～令和8（2026）年度

進捗基準：◎目標値を達成、○概ね達成（80%以上）、△未達成だが基準値より改善、▼基準値以下

達成率＝（令和4（2022）年度実績値－基準値）÷（令和8（2026）年度目標値－基準値）

指標項目	計画策定基準値 平成29 (2017) 年度	令和元 (2019) 年 度 実績値	令和2 (2020) 年度 実績値	令和3 (2021) 年度 実績値	令和4 (2022) 年度 実績値	令和8 (2026) 年度 目標値	評価
数値目標							
自殺死亡率 (人口10万人対の自殺死者数)	20.8 H23(2011)～H27(2015) 年の 平均	18.2 H26(2014)～H30(2018) 年の 平均	18.1 H27(2015)～R元(2019) 年の 平均	20.8 H28(2016)～R2(2020)年 の平均	20.1 H29(2017)～R3(2021) 年の 平均	14.6 R3(2021)～R7(2025)年 の平均	△
評価指標							
基本方針（1）安心して暮らせる地域づくりの推進							
ゲートキーパーの累計人数	684人	980人	1,000人	1,130人	1,252人	2,500人	△
「ゲートキーパー」という言葉を聞いたことある人の割合※	- H28(2016)年度 調査項目になし	-	-	19.6%	-	30.0%	-
基本方針（2）相談支援体制の充実・強化							
心配事や不安があるときに親身に相談に乗ってくれる人がいる人の割合※	76.5% H28(2016)年度	-	-	73.1%	-	81.9%	-
基本方針（3）自殺予防の啓発と周知							
睡眠で休養が十分とれている人の割合	78.0%	79.1%	77.4%	76.9%	-（確定値が出ていません）	86.0%	-
自分なりのストレス解消法がある人の割合※	74.8% H28(2016)年度	-	-	76.2%	-	80.0%	-
基本方針（4）ライフステージ別の効果的な対策の推進							
①妊産婦・乳幼児期 3歳児で午後8～9時頃に就寝する子の割合	58.2%	83.0%	76.9%	81.4%	78.7%	72.1%	◎
②思春期・青年期 市立中学校においてSOSの出し方に関する授業を実施している学校	-	0校/5校	0校/5校	0校/5校	5校/5校	5校/5校	◎
③壮年期 職域におけるこころの健康スロー運動の登録数	-	0	0	15団体	65事業所	150事業所	△
④高齢期 こころの悩みを抱えたときに誰にも相談しない人の割合（60～74歳）※	7.7% H28(2016)年度	-	-	9.7%	-	6.8%	-
基本方針（5）地域におけるネットワークの強化							
自殺対策推進会議団体数	-	18団体	18団体	18団体	18団体	20団体以上	○

※の指標については、燕市健康増進計画策定時に併せて実施する「元気生活チェック調査」からの抜粋。
「元気生活チェック調査」実施年度：平成28(2016)年度、令和3(2021)年度

目標値の評価

【数値目標】

- ・コロナ禍の影響もあるため、自殺者の動向は今後も注視していく必要がある。

【評価指標】

基本方針（1）

- ・令和4（2022）年度からゲートキーパー研修会やこころの健康講座などを対面式で再開した。一般向けゲートキーパー研修会は、申込方法を工夫したところ新規参加者が増え、目標値の約6割となった。

基本方針（2）

- ・3歳児で午後8～9時頃に就寝する子は8割前後で推移している。

基本方針（4）

- ・SOSの出し方教育を実施している中学校は5校となった。

基本方針（5）

- ・企業への登録推進は、他の事業と関係のあるところから推進していく。